

事務事業名 各地区婦人会補助事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：617

施 策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090601-08-527
基本事業：	02	生涯の学びを地域で活かせる人づくり	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	①地域で活動する人材の育成人数 ②生涯学習ボランティア新規登録数 ③自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ～		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
各地区婦人会、各地区婦人会会員			各地区婦人会の運営および事業補助として、補助金を交付する。 女性の社会性・主体性を培う（男女共同参画）、生涯学習、福祉、教育、 環境等のまちづくりについての研修・取り組み ◇御笠コミュニティ女性会：45,000円 【補助金交付の流れ】 申請書提出⇒申請内容確認⇒補助金交付⇒実績報告						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【補助金交付の流れ】 申請書提出⇒申請内容確認⇒補助金交付⇒実績報告						
女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、 地域に貢献している。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
加入率（会員数/市内の女性の数）		%	0.13	0.13	0.18	0.18			0.2
婦人会事業数		事業	5	5	11	11			20
5. コスト									
事業費		計	千円	45	45	45	45		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	45	45	45	45		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	818	827	847	45			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
☐ あがっている ☐ どちらかといえばあがっている ☒ あがっていない（停滞・低下）		地域の行事への積極的参加などがなされているが、会員の固定化や高齢化により、成果指標の数値が横ばいとなっている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	青少年の育成強化及び子どもアンビシャス広場への協力など、次世代育成の分野で地域貢献を行っている。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスにより活動自粛があったため、自主財源での活動となり、補助金申請が行われなかった。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
御笠コミュニティにおいて各地域行事や学校運営協議会に参画し、まちづくりに貢献しているほか、市ごみ減量推進委員の選出母体として環境問題にも取り組むなど、地域に欠かせない活動であるため、引き続き支援していく。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
女性が自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、その資質や能力を向上させるために行う各種の学習を高める活動を筑紫野市中央公民館開館にあわせて活動が始まった。 地域生活環境の変化や男女共同参画社会の推進につながっている。				※二日市婦人会活動は、地域婦人会活動と重なることから、平成25年度まで交付、平成26年度から休止により、御笠コミュニティ女性会のみへの交付となった。					